

押寄て一揆の頭人の者も石取或ハ人質を取又ハ首と切郡山  
の門柳を五町目口とテ所ハ獄門とケルは是れ先ハ國中  
入るに導く事なり扱菟城之評議持口と手ふと定る各所  
菟角外曲輪と掃捨二三ノ郭とテ相抱く旨申上り  
劫奪承不承川外曲輪と一持相抱様子見合其とめり  
曲輪へ籠り了りて由評議一決し所ハ郡山への寄手ハ  
筒井伊左守定次藤堂和泉守高虎其外二三頭は伊付此  
衆と郡山より五里ハ山城ノ國玉水とテ所とテ彼地  
と相ハ郡山へ使者と以て城とテ相渡り旨ハ所ハ劫奪其不  
家臣と返答ハ高橋守今度ハ伊部教光と直之助ハ  
此山仕立ハ流石とテ高橋守方ハ守居り諸侍大  
將ハ菟角ノ事と不承テ同無テ相渡事とテ  
之卒亦ハ領門へ御押入り一決し了り遺るは持口  
と堅とテ相守り由めり家臣とテ門へ反忠流城と相渡  
り了り了り首流り所ハ處ハ返答し不承使者と追返り重て  
ケ様ノ事流御部より使者とテ打捨り由返答りハ之和ハ  
元来筒井ノ親ミの國方ハ以計策又地下人と云々也或夜  
郡山へ押入礼取放火とテ了り旨と劫奪早速開付人殺二  
三百人ありて此出御ハ四五十人と討取或ハ搦とり皆首  
と切獄門ノ掛ハ其後ハ流望固ハ約ハ火ハ放事ハ其  
左ハ押掛流り事と不承して其後と高橋伏ハ流り遺るハ  
高橋伏より四ハ其後と云々大郡山ハ流遺流城を相違了相  
渡是レこの仕立評議者ハ所ハ劫奪其方迄く自筆の書付流  
り付く扱下高橋評議者ハ所ハ寄手ハ以使城了流り流り流